

開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)

休館日 原則として、月曜日、祝日、年末年始(12月28日~1月4日)
プラネタリウム休演日 9月15日(水)~17日(金), 11月2日(火), 4日(木)
全天周映画休演日 9月15日(火)~17日(金)

入場料

区分 / 金額	個人	団体 (20人以上)	
展示室	おとな	400円	320円
	こども (小・中学生, 高校生)	100円	80円
プラネタリウム	おとな	400円	320円
	こども (小・中学生, 高校生)	200円	160円
全天周映画	おとな	400円	320円
	こども (小・中学生, 高校生)	200円	160円
プラネタリウム + 全天周映画	おとな	600円	480円
	こども (小・中学生, 高校生)	300円	240円

宇宙劇場投映開始時刻

曜日 / 時刻	10:00	11:10	12:20	13:30	14:40	15:50
火~金	学習投映 (団体予約優先)	学習投映 (団体予約優先)		学習投映 (団体予約優先)	全天周映画	プラネタリウム
土・日 春・夏・冬休み	全天周映画	プラネタリウム	全天周映画	プラネタリウム	全天周映画	プラネタリウム

定員210名, 各回入れ替え制。投映中の入退場はご遠慮ください。
 学習投映は団体予約優先の投映です。団体でご利用の場合は、あらかじめお電話でご予約ください。
 学習投映の番組は幼児用, 小学生用(低学年, 4年生, 高学年), 中学生用を用意しています。
 小・中学校及び幼稚園等の春・夏・冬休み期間中は、火~金曜日, 土・日曜日と同じ投映スケジュールとなります。



宇宙劇場 プラネタリウム

PLANETARIUM

ACCESS

- J R 倉敷駅からタクシー 20分
- J R 倉敷駅からバス 25分
- 下電バス
 - 『ライフパーク倉敷行』 終点下車
 - 『市役所・古城池経由 J R 児島駅行』 ライフパーク倉敷入口下車
 - 『市役所・古城池経由 広江団地行』 ライフパーク倉敷下車
 - 『大高経由 J R 児島駅行』 福田中学校前下車(徒歩15分)
- 国道2号線 笹沖交差点から車で15分
(古城池トンネルを抜けて最初の信号を左折)
- 瀬戸中央自動車道 水島ICから車で10分
(広江一丁目交差点を右折後, 最初の信号を右折)

倉敷科学センター
 〒712-8046 倉敷市福田町古新田940 ライフパーク倉敷
 TEL (086)454-0300 / FAX (086)454-0305
<http://www.city.kurashiki.okayama.jp/lifepark/ksc/>

投映の話題 (今夜の星空解説含む)

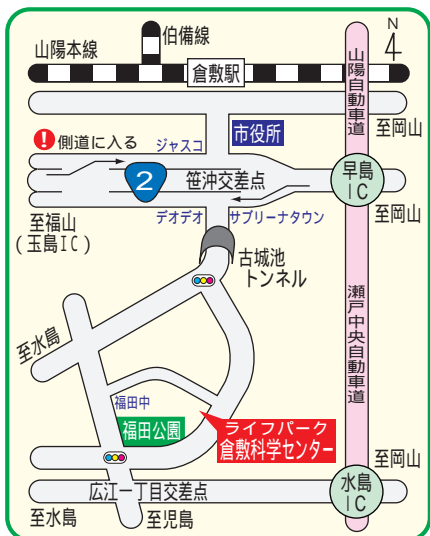
てんもんだいものがたり

おかやま天文台物語

- 国立天文台 岡山天体物理観測所 -

Vol. 35 2004. 7. 9 ~ 2004. 10. 31

KURASHIKI SCIENCE CENTER
倉敷科学センター



てんもんだいものがたり おかやま天文台物語

国立天文台
岡山天体物理観測所

上映期間 / 7月9日(金) ~ 10月31日(日)

日本の天文学を40年に渡ってリードし、今なお、現役で活躍し続ける国立天文台・岡山天体物理観測所。反射鏡直径188センチの国内最大を誇ってきた望遠鏡も、2004年2月、ついにその座をゆずり渡す日がやってきました。

しかし、観測天文学の基礎を築き、多くの天文学者や技術を育てた功績が、高く評価されていることも忘れてはなりません。

この番組では、岡山の地で宇宙を見つめ続け、岡山の人々に支えられてきた観測所40年間の足跡と、未来に向けてさまざまな挑戦を続ける天文学者たちの姿をご紹介します。



上空から見た岡山天体物理観測所（岡山県鴨方町）

参考資料：

国立天文台岡山天体物理観測所
40周年記念誌

取材協力：

- ・国立天文台 岡山天体物理観測所
前所長 前原 英夫 氏
- ・国立天文台 元助教授 西 西 洋樹 氏
- ・国立天文台 岡山天体物理観測所
所 長 吉田 道利 氏
主任研究員 泉浦 秀行 氏
- ・国立天文台 天文情報公開センター
助教授 渡部 潤一 氏
- ・兵庫県立西はりま天文台公園
園 長 黒田 武彦 氏
- ・神戸大学大学院 自然科学研究科
COE研究員 佐藤 文衛 氏
- ・岡山天文博物館 館長 粟野 諭美 氏
- ・株式会社リブラ 田部 一志 氏

映像資料提供：

- ・山陽放送株式会社（RSK）
- ・兵庫県立西はりま天文台公園
- ・美星天文台
- ・ローウェル天文台 / ジョン・スペンサー 氏

声の出演：

- 株式会社アクセント
- 山本 満太 宮林 康
近藤 隆幸 佐藤 ゆうこ

岡山天体物理観測所のあゆみ



- 1954年 国会で188cm望遠鏡購入予算可決
- 1956年 岡山県南西部竹林寺山に設置を決定
- 1958年 ドーム建物工事開始
- 1960年 188cm望遠鏡据付完了 開所式
- 1962年 本格観測開始
- 1966年 X線星の世界最初の光学観測
- 1972年 ジャコビニ流星雨騒動
- 1988年 東京天文台より国立天文台へ改組
- 1991年 台風19号により188cmドーム破損
- 1994年 彗星の木星衝突を近赤外で観測
- 2003年 G型巨星の周りに太陽系外惑星を発見

けんがく はんしゃ ぼうえんきょう 見学できる188センチ反射望遠鏡

岡山天体物理観測所の主力188センチ反射望遠鏡は、昼間の時間帯（夜間は進入規制のため不可）に常時、見学をすることができます。

岡山天文博物館の脇より、見学コースの坂道を上り、巨大ドームに入ると、ガラス越しに188センチ望遠鏡や観測床など、天文学者が宇宙に挑戦する生の現場をながめることができます。

特に、特別公開や特別観望会など限られた機会は、観測施設が間近で見学できたり、巨大望遠鏡で生の天体を観測させてもらえるチャンスです。

見学についての詳細は、岡山天体物理観測所まで、直接お問い合わせください。



特別公開中の188センチ反射望遠鏡施設

次回のプラネタリウム新番組は11/5(金)よりスタートです。